

会議録（要点記録）

会議名	令和7年度第2回 社会教育委員の会議 小委員会		
事務局	生涯学習課		
開催日時	令和7年10月21日（火） 午後6時から午後8時		
開催場所	小金井市第二庁舎701会議室		
出席委員	笹井委員、渡邊委員、池田委員、小林委員		
欠席委員	金澤委員		
事務局員	濱松生涯学習課長 最所生涯学習係長		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	<p>(1) 第5次生涯学習推進計画の策定について</p> <p>(2) 今後の日程について</p> <p>(3) その他</p> <p>配布資料</p> <p>資料1 (仮称) 第5次小金井市生涯学習推進計画施策の体系図(案)</p> <p>資料2 (仮称) 第5次小金井市生涯学習推進計画施策の展開(案)</p>		

会議結果

(1) 第5次生涯学習推進計画の策定について

- ① (仮称)第5次生涯学習推進計画について、施策の体系図を改めて資料のとおり作成し、事務局より以下の内容説明を行った。

前回の10月9日社会教育委員の会議のあと、さらに議長と相談し、体系図について、修正を加えたため、修正点を各委員に説明した。主な修正点としては、情報発信の推進について、施策3基盤整備にあったところを、ソフト事業ということで施策1に変更したこと、また、表現について、いくつか修正した。

- ② 施策の体系図案について、各委員より意見がでた。

- ・ 学びの場ということで、発表するだけではなく、その前後で交流できる場であったり、人間関係を耕せる場であったりすることが、重要である。
- ・ 便宜上、縦割りに事業を限定列挙するのではなく、より多く意味を持たせる上で、書き方を工夫出来ないか。

- ③ 施策の体系図を踏まえ、策定支援業者と協業し作成した4章以降施策の展開について、各委員より意見聴取した。

- ④ 施策の展開施策1について、各委員より意見がでた。

- ・ 生涯学習とは、世の中や社会へどう対応するかということ、学校教育ではそれに対応できないので、学び続けることが大事である。
- ・ 高齢者が様々な制約で学習できないのではなく、学ぶ意欲を刺激する内容である必要がある。
- ・ 学ぶ喜び・知る喜びを刺激し、もっと学びたいと思わせることが重要である。ワークショップなどを開催し、学びの楽しさを喚起する必要がある。
- ・ 税金や相続など実生活につながる学びも重要である。色々な制約があるなら、オンラインやハイブリットで開催できれば子育て世代や社会人にも広がるのではないか。
- ・ 学校教育だけではなく、探究学習や主体的な学びを地域でカバーしていく必要がある。
- ・ 子供のキャリア教育が必要ではないか。
- ・ アプリ等で周知する仕組みを作れないか。
- ・ 情報発信については、特に転入者に向けた周知が課題と感じている。

- ⑤ 施策の展開施策2について、各委員より意見がでた。

- ・ ボランティア活動を担う人だけではなく、コーディネーターの存在も大事であ

る。また、ボランティア研修だけではなく、実践につながるような観点が必要ではないか。

- ・ 地域学校協働活動の枠組みなかで、ボランティアとコーディネーターを育てることが必要である。
- ・ 地域人材について、人材不足である。働く女性が増えたこともあるが、保護者について時間がない状況がある。
- ・ シニアデビュー講座等の事業もあるので、具体的事業にいられてもいいのでは。
- ・ 地域愛を育むことも重要だが、それを地域の人に教わることでより地域愛が深まると思う。
- ・ 公民館まつりは、公民館の活動している団体が発表する機会であるが、年々高齢化が進んでいる。

⑥ 施策の展開施策3について、各委員より意見がでた。

- ・ 公民館の講座等については、オンラインとハイブリットでの開催が望ましいのではないか。または、期間限定かつ申込制にしてYouTubeでのアーカイブ化等検討してみてはどうか。

(2) 今後の日程について

① 事務局より、今後日程について、確認した。

② 今回の小委員会での意見を反映した施策の展開案を再度、社会教育委員の会議小委員会にて、資料として提出する予定である。